

## 献辞

二〇〇七年度をもって人文学部社会科学科の今尾雅博教授が定年退職されます。

今尾先生は、名古屋大学助手、名古屋学院大学助教を経て、一九八七年に人文学部助教として赴任され、一九八九年教授に昇任されました。マーケティングを中心に担当され、本学部社会科学科の経営学分野の中枢としてご尽力いただきました。また、一九九八年度は社会科学科長として、学部・学科運営に多大なる貢献をされました。

本来ならここで先生のご功績を紹介すべきところですが、私にとつては遠い分野でその任ではありません。むしろこの論集を手にしていらっしゃる方の方がお詳しいと思いますので、学部での先生のご活躍の様子をご紹介します。献辞とさせていただきますと思います。

先生は、上でご紹介した学科長のほか、さまざまな学部の委員を務められました。私たちが全員におそらく最も印象の深いのは就職委員長としてのご活躍であったと思います。一九九九年就職委員長に就任されたあと、二〇〇四年まで連続して委員長を務めていただきました。この間、単に決められた委員長としての業務をこなすだけではなく、さまざまな地域の企業に自ら出向かれて就職先の開拓をしてくださいました。教授会での熱のこもった就職指導のご報告の姿が目につきます。

本学部では、毎年秋に三年生向けに就職活動の出発点として就職ガイダンスを行っております。

が、その際打合せの茶菓などは当然公費では出ませんので、先生が自らの費用で用意されたと聞いております。そんな陰のお氣遣いが学生たちの力となったのだと思います。

このところ景気も上向いて来たと言われておりましたが、厳しい不況時にあってもなんとか本学部の学生が就職できてきたのも先生が培われた地域のネットワークのおかげにちがひありません。

学部を代表してこれまでのご尽力に心より御礼申し上げます、先生にこの論文集を捧げたいと思います。

二〇〇八年三月

人文学部長 井口 靖